

# 新京野菜ブランドのロゴマークのデザイン開発

デザインチーム 沖田実嘉子

## 要 旨

京都市産業観光局 農林振興室 農林企画課では、「京の旬野菜推奨事業」の中で「新京野菜」生産販売を強化している。今回「新京野菜」のPRとブランドイメージ強化のため、ロゴマークのデザイン開発を京都市産技研が行った。

### 1. はじめに

新京野菜は、京都市が京都大学や京都学園大学、生産者と連携して開発・導入を進めている新しい品種の野菜で、全部で12品目（平成31年4月現在）ある。新京野菜は京都の気候風土に合っており、また時代のニーズに応えるべく、栄養価が高い、少ない農薬でも栽培できる等、その品目ごとに様々な特長を持っている。京都の伝統野菜が、京都の農家の方々によって代々受け継がれ、文化として育まれてきたのと同じように、新京野菜も将来的に伝統ある京野菜として定着し、新しい京都の食文化に寄与することを目指している野菜である<sup>1)</sup>。

また、京都市では市内で生産される旬の野菜を市民の方々に供給する体制を整備し、京都市内産野菜の伝統を守り、さらに発展させていくための「京の旬野菜推奨事業」も行なっている<sup>2)</sup>。本事業で新京野菜の生産販売を強化するため、新たにロゴマークを作ることになった。

そこで京都市産業観光局 農林振興室 農林企画課からの依頼により、①商標登録を前提としたロゴマークのデザイン提案・作成、②ロゴマークを使用したのほりデザインの作成、③ロゴマークの使用規定（ブランドイメージを壊さないよう一定の基準を定めたもの）を作成し提案した。

### 2. デザイン提案

新京野菜のロゴマークデザイン作成にあたり、まず全国のブランド野菜におけるロゴマークの現状を調査分析した。そこから読み取れるデザインの傾向について検討を重ねた。

今回サンプリングしたロゴマーク50点のうち、約半数が「筆文字」「キャラクター」を用いており、店頭には「伝統・懐かしさ」と「親しみ・温もり」を想起させるマークが多く並んでいると推察される。

店頭に並べた際、識別性が高く、また新京野菜の開発

コンセプトにも合致する「現代・革新」を想起させるデザイン（図1囲み部）で作成することとし、デザイン4案を提案した（表1）。

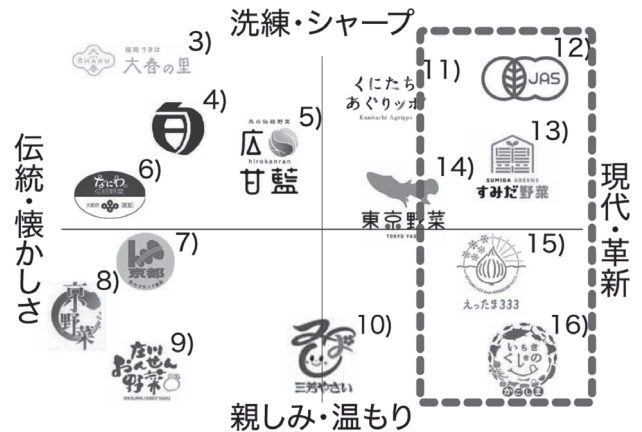


図1 ブランド野菜のロゴマークの分類

表1 ロゴマーク案 (A～D)

デザイン案	コンセプト
A	<p>新京野菜が持っている「新しさ」、「新世代」のイメージを強調するため、代表的な6種類の新京野菜をモチーフに使って、「新」の文字をシンボリックに表現。</p> <p>京都市の気候風土に合わせて、京都市で開発・栽培された野菜という意味を込めて「Born in Kyoto」というメッセージも添えた。</p>

デザイン案		コンセプト
B		次世代の京野菜として生まれた新京野菜。「新京野菜の代表格・苗の培養・畑を耕す鋤」3つのモチーフとシャープでモダンな書体を融合して、新京野菜の「新しさ」「新世代的」なイメージを表現。
C		代表的な6種類の新京野菜と顕微鏡と試験管モチーフを組み合わせて、新しく開発された野菜を表現。 京都市の気候風土に合わせて、京都市で開発・栽培された野菜という意味を込めて「Born in Kyoto」というメッセージも添えた。
D		次世代の京野菜として生まれた新京野菜。最近世の中に出たばかりの新しい野菜（伝統野菜と比べて）を「発芽する」イメージで表現した。また、葉っぱは代表的な6種類の新京野菜と顕微鏡と試験管モチーフの集合体のデザインで、新しく開発された品種を表現。

### 3. 新京野菜ロゴマーク・のぼりデザインの決定

表1に示したロゴマークの提案後、農林企画課で協議した結果A案を微調整して使用することになり、最終的にはロゴマークデザインは図2となった。また決定したロゴマークを元のにぼりのデザイン及び、ロゴマークの使用規定も作成した(図3, 4)。

ロゴマークは農林企画課により、令和元年6月21日に商標登録された。また、平成31年4月22日(月)から新京野菜生産者が出荷袋にロゴマークを貼って、京都市中央卸売市場第一市場への出荷を始めた。

今後は、他の品目へのロゴマークの使用や、イベントにおけるのぼりの使用等、プロモーションで活用される。



図2 決定した新京野菜ロゴマーク



図3 のぼりデザイン



図4 ロゴマークの使用規定(一部抜粋)

参考文献

- 1) 京の旬野菜協会：新京野菜パンフレット
- 2) 京都市：京の旬野菜推奨事業  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000001085.html>
- 3) Design studio SYU <http://syu-design.com/1383>
- 4) 京都市：京の旬野菜推奨事業  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000001085.html>
- 5) 呉幻の伝統野菜ひろかんら <http://hirokanran.com/>
- 6) 大阪府：なにわの伝統野菜認証制度  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/nosei/naniwano-nousanbutu/ninteiseido.html>
- 7) さいさい京野菜倶楽部 <http://kyoyasai.kyoto/>
- 8) J-PlatPat 京都府農業協同組合中央会  
<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/t0201>
- 9) コミュノグラフ <https://www.communograph.net/works/logo/> 庄川おんせん野菜 - ロゴ /
- 10) 三芳町みよし野菜 <https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/kanko/meisan/>
- 11) くにとちあぐりっぽ <http://kunitachi-agri.jp/staff/>
- 12) 農林水産省 [http://www.maff.go.jp/j/jas/jas\\_kikaku/](http://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/)
- 13) Agri Garage <https://agri-ga.com/>
- 14) 東京野菜 <https://yasai.tokyo.jp/>
- 15) 伊達野菜 <http://www.dateyasai.jp/2018/06/20/>
- 16) いちき串木野市 ブランドロゴマーク  
<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/shokan1/kanko/brand.html>

